

こどもたちと過ごす時間の中で  
次々に発見する新しい「私」  
生活って、ネタの宝庫だと思います

# 横澤夏子

お笑いタレント

「こんな女性、いるいる!」と、思わず膝をたたいてしまう

絶妙な一人コントでブレイク。現在、三姉妹の子育てに奮闘中で

ママとしてのメディア出演も多い横澤夏子さん。

仕事と生活の間でときに揺れながらも、きっぱりと家族を優先。

自分のペースで両立を目指す、覚悟の笑顔が素敵です。

## Profile



## 横澤夏子 (よこさわなつこ)

1990年生まれ。新潟県糸魚川市出身。高校卒業後、吉本興業の養成所NSC東京校に入学し、19歳で初舞台を踏む。身近によくいるさまざまな女性に扮する“細かすぎるモノマネ芸”で人気を集め、2016年から2年連続で『R-1ぐらんぷり』決勝進出。2018年には『女芸人No.1決定戦 THE W』で準優勝。2017年に一般男性と結婚し、3人の女兒の母に。現在は子育てをしながらテレビ番組やCM、イベントなどで活動している。藤本美貴とともに番組MCを務める『夫が寝たあとに』(テレビ朝日)も人気。

## 父こだわりの“卓球ルーム”の存在 それ抜きに、私の実家は語れません

ふるさととは新潟県の糸魚川。徒歩5分で日本海にも山にも行ける自然に恵まれた町で、高校卒業までのびのび育ちました。家族5人、最初は団地住まいだったんですけど、私が小学4年生の頃、両親が一戸建てを建てたんです。それこそ土地を選ぶところから父と母について回って、お家がどんどんできていくところも見てました。当時、近所で家が建つたびに楽しみだった上棟式の餅まきをわが家でやるとなったとき、飛び上がるほどうれしかったのを覚えています。実際に住んでからも「これは当たり前のことじゃない。幸せなことなんだ」って、何度も何度も両親に言われて。大事にこのお家を守ってこうと、こども心に思いましたね。

横澤家の象徴とも言えるのが卓球ルームです。父と母の出会いが卓球がきっかけだったので、父がどうしてもつくりたいって言い出した。いろんなハウスメーカーさんに掛け合って防音の部屋をつくってもらい、中国から卓球台を取り寄せて。夕飯のあと、そこで父と特訓したりしていました。年末年始とかには全員で家族トーナメントをやったりも。父親が絶対優勝する“接待卓球”なんですけど(笑)。そういうのもすごく楽しかったです。

夫も結婚したての頃、実家で卓球しようかという話になったら、父が「まずは素振りからだ！」って。卓球台の脇に立って、ずっと素振りさせられてましたね(笑)。最近、私のこどもたちが、その部屋で初めて卓球をやってみたんですよ。小さい頃の私を見ているようだって、父も母もそれはもう喜んで。そんなわけで横澤家の家族トーナメントは、どんどん規模が拡大してます。

## こんな感情、初めてかも！ 子育ては自分との出会いの連続です

結婚して、こどもが生まれて、次々に新しい扉が開いていく感じ。だからネタには困らないですね。もう自分のことは全部知り尽くしたと思ってたけど、まだまだ知らない感情ってたくさんあるんだなっていうのは、子育てを通して本当に思います。「私こんなに、1歳の子相手にブチ切られるんだ」とか(笑)。初めて抱く感情っていうものがすごく多いんですよ。例えばこどもが初めて何かを体験する姿を見るのは、私にとっても初めてじゃないですか。それを見ることで、こんなにも楽しいとか、うれしいとか、幸せっていう感情になるんだなあって。自分自身の知らなかった一面や、知らなかった気持ち、そういうのを毎日学べている。どんどん新しい横澤夏子に出会っていく。日々、楽しいなって思います。

こどもは今4歳、2歳、0歳だから、まあ、まだ全員赤ちゃんですね。うちは保育園なのかな？ みたいな感じですよ(笑)。仕事には、産後半年くらいで復帰しました。やりたい仕事はたくさんあるけど、今は仕事よりも生活を回すことが第一っていう、優先順位がやっとなつけられたかな。ベビーシッターさんをお願いできるんだったらこの仕事を受けられるけど、シッターさんが見つからなかったらこの仕事はできないねって、すっぱり諦める。難しいところではありますが、気持ちに折り合いをつけながら、生活に主軸を置いています。

家づくりって、大変だけど夢がある  
待望の新居が間もなく完成

## 家づくりって、大変だけど夢がある 待望の新居が間もなく完成

実は今、家を建てている最中なんです。戸建ては私の夢でもあったんでうれしいですけど、家づくりがこんなに大変だったとは！ 夫との意見のすり合わせとか、結婚式を計画するのにちょっと似てるなと思いました。いろんな夢が詰まってるわけじゃないですか。当然お金もかかりますし。一生に一度のことって、なんでこんなに震えるんだろう？ みたいな(笑)。でもその話し合いもね、すごく楽しかったです。

まず不動産屋さんに、夫と私それぞれの理想と譲れないポイントを10個ずつ書き出してくださいって言われて、それを照らし合わせるところから始まって。使いやすいキッチンに憧れるし、家事がラクにできる動線確保も大事だし、パントリーが広いのもいいな〜とか、本当に欲望ってどんどん出てくるんですよ。でもやっぱり第一は、家族が集まれて、みんなの居場所になるような、





広々としたリビングがあること！それが、夫とも一致した最優先ポイントでした。

あとは寝室。うちのこどもたちは寝かしつけが大変で、すっごい時間がかかるんです。今住んでいる家の寝室はリビングの隣にあって、どうしても扉の隙間から明かりが漏れてくるんですよ。たぶんそれで寝ないんだろうと思って、新居には本当に真っ暗な、寝るためだけの“漆黒の部屋”をつくりました。

### 家族みんなを幸せにする 明るく元気なお母さんでいたい

お子さんがいて活躍している女性芸人の先輩って、けっこういらっしゃるんです。すでに道ができていていうだけで心強い。親世代のときと比べると、どんどん子育てしやすい時代になってきていると思います。保育園のお迎えで仕事を抜けることを申し訳なく思ったり、時間を気にしてアワアワしたりしてたけど、「俺もなんだよ」って言ってくださる男性の先輩もいて。理解者は近くにたくさんいるんだって思ったら、すっごく気がラクになった。私は本当に周りの方に恵まれていて、だからこそもっと、悩みがあったら相談してみようとか、甘えてみようとか、そういうふうにも思うようになりましたね。あと、コロナ禍の子育てを経験して、たわいのない話をするのがいかに心を豊かにするかということに気づけたのも大きい。人とお話ししたり、コミュニケーションをとることって、とっても重要だなんて思います。

悔しい思いもめちゃくちゃありますよ。保育園に預けている間の平日9時から17時で働かせてもらってますけど、やりたい仕事は夜にもあったりしますから。でも今は、こどもと一緒にいる時間が、一緒にお風呂に入ることが、何より大事なんだと思って割り切るようにしています。もちろんこどものせいじゃないし、私のせいでもないし、誰のせいでもない。これはもう神様のせい(笑)。神様がこう言ってるんだと思って受け入れる。どうせ10年後には絶対、あのとき幸せだったなあって思う人だろうなって。このバツバツの時期は今だけなんだって、日々、思い出づくりだと思って生きてますね。

もうね、常にいっぱいいっぱいですよ。でも、明るく元気なお母さんでいたいっていうのは、自分の裏テーマとして持っていて。少しでもいいから明るささえあれば、家族って円満になると思っています。あと、お友だちから聞いたんですけど、お母さんがニコニコしてる家って、金運がアップするんですって。それを聞いたら「えーっ、お金のためにニコニコしよう！」って思って(笑)。もちろんこどもたちのためにというのが一番だけど、私が笑っていることでこどもたちも笑顔になって、運氣も上がるなら最高じゃないですか。そう思いながら、がんばってニコニコしています！

インタビュー動画は住宅金融支援機構(JHF) YouTube公式チャンネルでご覧いただけます  
[https://www.youtube.com/playlist?list=PLcbOj07XtnfKA4\\_r\\_69-mElwHrGxjKXi](https://www.youtube.com/playlist?list=PLcbOj07XtnfKA4_r_69-mElwHrGxjKXi)

